

大会エントリーにおける注意

ここ数年、大会において大幅に標準記録より遅い選手が出走しており、400種目などにおいては1分以上遅れるなど競技の進行に支障をきたす事が起こっています。したがって同じチームにおいて標準記録オーバーが繰り返される場合、責任者を呼びだすとともにペナルティーを科す場合があります。以下に参考として大阪中体連の設定している短水路と長水路の標準記録のタイム差について表しました。短水路のタイムでエントリーした場合に参考にいただき、標準記録の突破していない選手のエントリーをしないようにお願いします。

参考大阪高校対校標準記録

種目	距離	男子	目安とするタイム	女子	目安とするタイム
自由形	50m	30.00	30.50	35.00	35.50
	100m	1:13.00	1:14.00	1:23.20	1:24.20
	200m	2:40.40	2:42.40	3:03.00	3:05.00
	400m	5:37.10	5:41.10	6:30.00	6:34.00
	800m				
1500m					
背泳ぎ	50m	35.00	0:35.50	41.00	0:41.50
	100m	1:27.80	1:28.80	1:49.40	1:50.40
	200m	3:04.10	3:06.10	3:48.70	3:50.70
平泳ぎ	50m	37.00	0:37.50	44.00	0:44.50
	100m	1:33.30	1:34.30	1:37.70	1:38.70
	200m	3:18.80	3:20.80	3:28.50	3:30.50
バタフライ	50m	34.00	0:34.50	40.00	0:40.50
	100m	1:26.10	1:27.10	1:37.70	1:38.70
	200m	3:17.00	3:19.00	3:28.50	3:30.50
個人メドレ	200m	3:07.20	3:09.20	3:24.20	3:26.20
	400m	6:24.60	6:28.60	6:41.60	6:45.60

以上のように短水路で制限タイムが切れていた場合、大会での実際のタイムが目安とするタイムに近い状態になることが考えられるが、このタイムよりあまりにも遅い場合にはペナルティの対象となる。